

# 支援プログラム

事業所名		のため・べっぴん 児童発達支援 (単位1, 単位3, 単位4)		作成日	2024年 10月 25日
事業所理念		1. 子どもの自尊感情・主体性を育てイキイキと生きられる「思考」を育む 1. 子どもの持つ可能性を芽吹き、夢や目標に向かって人生を歩む力を育む 1. 「人を想う」豊かな心を育て、感謝と感動ある人生を送ることができる人の育成を目指す 1. 子どもの心の拠り所となる家族が、健やかに暮らすことができる支援を提供する 1. 「愛・信頼・責任」を根幹に、社会に必要とされる事業風土をつくる			
支援方針		1. 日々の療育に運動(体操)を取り入れ、「やってみよう!」「出来た!」の経験を積み重ね心身の発達を促せる運動プログラムを提供します。 1. 一人ひとりの特性から長所を見出し、伸ばす支援を実践します。 1. 様々な体験から、夢や目標が持てる支援を提供します。 1. 「愛され大切にされている」と感じられる関わりを実践します。 1. 人と関わることの喜びや生きる楽しさを「遊び」や「スポーツ」を通して育みます。 1. ペアレントトレーニングや保護者会の開催。また保護者の方にも運動を通してリフレッシュ笑顔で過ごせるサービスを提供します。 1. 最高の事業所となるべく、スタッフが自信を持ち笑顔で支援に当たることができる環境を作ります。			
営業時間		9時 30分から 18時 30分まで	送迎実施の有無	あり (送迎範囲規定あり)	
活動内容		支援内容		5領域との関連性	
本人支援	自由遊び	・様々な玩具・運動器具を使って、形や色を識別する遊びを通し視覚的な認識能力が向上する支援を行う。 ・遊びの中で「〇〇はどうしたかったのかな?」等会話をすることで物語の流れを理解し、視覚情報を基にした思考力を育む支援を行う。 ・遊び等を通じて人の動きを模倣したり、コミュニケーションを図ることにより、社会性や対人関係の芽生えを支援する。 ・感覚機能を使った遊びや運動機能を動かせる遊びから、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。 ・周囲にいても無関心である一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を促す。 ・遊びを通して物の名前を覚えたり、運動遊びから「跳ぶ」「投げる」などの動作を説明し、その言葉の意味を体験を通じて理解に繋げていく。☑		・健康と生活 ・運動と感覚 ・認知と行動 ・人間関係と社会性 ・言語とコミュニケーション	
	はじまりの会	・1日のタイムテーブルやお友達の名前等の情報を視覚情報(カード等)で取得し、得た情報を適切に処理できるように支援する。 ・過去に取得した情報と照合し、環境や状況を把握・理解できるようにするとともに、これらの情報を的確な判断や行動につなげることができる支援を行っていく。 ・お当番という役割から具体的な事柄や体験と言葉の意味を結びつけること等により、自発的な発声を促し、体系的な言語を身につけることができるよう支援する。 ・集団に興味関心を持ち参加したいという意欲を引き出すことで、自発的に集団活動に参加できるように支援する。		・認知と行動 ・人間関係と社会性 ・言語とコミュニケーション	
	運動	・基本プログラムとして器械体操(マット運動・跳び箱・鉄棒)をベースに一連の動きを分解したサーキットを取り組むことで、身体操作を習得していく。 ・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を粗大運動を通じて培う。 ・保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるように、体操器具や音声を使いながら支援する。 ・感覚や認知の特性(感覚の過敏や鈍麻)を踏まえ、感覚の偏りに対する調整ができるよう支援する。 ・自分の出来ること/今できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の受容と前向きな切替が出来るように支援する。 ※運動機能向上については専門的支援実施計画を作成する。		・健康と生活 ・運動と感覚 ・認知と行動	
	着替え	・着替えの時間を設けることで、排泄、衣類の着脱、身の回りを清潔にすること等の生活に必要な基本的技能を獲得できるように、環境の工夫を行いながら、こどもの状態に応じて適切な支援をする。 ・アタッチメントを通じて寄り添う大人との信頼関係を築き安心感を育む。 ・様々な非認知能力を活用し、工程の理解と意思の伝達が出来よう支援する。		・健康と生活 ・認知と行動 ・言語とコミュニケーション ・人間関係と社会性	
	おやつ	・様々な食感/触感を味わう/触れることにより、新たな感覚刺激を習得する機会をつくる。 ・物理的な空間や雰囲気、言語を共有する環境を構築することで、他者への関心と理解を深め、協調意識を育む機会を提供する。 ・準備等の手順を覚え、自立して取り組む力を身につけるとともに、周囲の状況を観察し気づく力や協力する姿勢を養う支援を行う。		・健康と生活 ・認知と行動 ・人間関係と社会性	
家族支援	・インフォームドコンセントを徹底し、こども・保護者との信頼感を育み、家族や周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。 ・家族の子育てに関する困りごとや悩みについて相談援助を行う。 ・こどもの発達上のニーズについての気づきの促しや発達状況や特性の理解に向けた相談援助を行うとともに、アフターケアも行っていく。 ・保護者同士の交流の機会をペアレントトレーニングや講座の開催を通じて提供する。		移行支援	・保護者の要望に応じて、移行先のこども園・幼稚園・小学校と支援方針・支援内容、こどもの様子・保護者の意向・支援方法について情報共有し、移行後も持続した支援を行えるよう配慮する。 ・進路や移行先の選択についての本人や家族への相談援助を行う。	
地域支援・地域連携	・保護者からの要望に応じて、こどもの通園先や通う予定の学校との情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助、児童発達支援計画の共有・会議の開催を行う。 ・こどもを担当する保健師や、こどもが通う医療機関等との情報連携を行う。 ・こどもが利用する障害児相談支援事業所や障害福祉サービス事業所、他の障害児通所支援事業所との生活支援や発達支援における連携を図る。 ・虐待が疑われる場合には、児童相談所やこども家庭センターとの情報連携を行う。 ・保護者からの要望に応じて、個別のケース検討のための会議の開催		職員の質の向上	・年間計画を立て、所内研修を随時行う。 (職員の経験年数に合わせた適切な研修内容の実践) ・職員が自身のキャリアパスについて理解することで、定期的な自己評価とフィードバックを行い、自己改善や意欲向上に努める。 ・職員それぞれのニーズに合った外部研修への参加。	
主な行事等	【スポーツイベント】：野球・サッカー・ドッジボール・陸上・コーディネーショントレーニング・エアートランポリン・アスレチック等開催 【季節行事】：お正月を楽しもう!・冬の大運動会!・べっぴん雪まつり・節分おに退治・べっぴんひな祭り・夏祭り・水祭り・運動会・ハロウィンパーティ・クリスマスパーティー等開催				